年間授業計画　様式例

墨田川　高等学校 令和７年度（１学年用 教科　　芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｈ 組

使用教科書：（ 高校生の美術１　日本文教出版　　）

教科　芸術　　の目標：　芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりできるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術文化と幅広くかかわる資質・能力を育成する。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、次第を生成し、創造的に発想し、構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み生涯にわたり、美術を愛好する心情をはぐくむとともに感性を高め美術文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	明暗のグラデーションを鉛筆で表現する。自分の手をデッサンする。 色の三属性、色の混合、補色対比について知る。	グラデーションと手のデッサン。八つ切り画用紙、鉛筆 色彩の基礎（八つ切り画用紙、アクリル絵の具）	○			○	描写力とともに、物を見る力（観察力・注意力）を高めることができる。 色彩についての基礎的な仕組みを学び、知識の定着を把握することができる。	○	○	○	16
	スパッタリング、ドリッピング、デカルコマニー、バティック等により、四季、感情を表現し、理解する。	デザイン技法 （八つ切り画用紙を半裁×４枚、アクリル絵の具）		○		○	様々なデザイン技法を経験することができる。	○	○	○	8
	セザンヌ、モネの油彩作品を模写を通して混色、明暗の表現を学ぶ。 （鉛筆によるトレース・６号サイズへの拡大作業）	印象派の作品を模写する（鉛筆）鑑賞	○			○	模写する作品を決め、鉛筆によるトレースをする。	○			6
	セザンヌ、モネの油彩作品を模写を通して混色、明暗の表現を学び、印象派の作品を鑑賞する。	印象派の作品を模写する （アクリル絵の具、Ｆ６号ボード）					鉛筆の上から単色の絵の具でトレースする。（カマイユ）				
前・後に適宜	友人の作品を鑑賞する	講評	○			○	鑑賞し感じたこと・学んだことを、自分の表現に生かすことができる。	○		○	16
	各ピーズがそれぞれ独立したレリーフになり、一つのパズルになるようにアイデアスケッチし、板に転写する。	木彫レリーフによるジグソーパズル	○	○		○	自己の考えをまとめて下描きすることができる。		○		16
後期	板材の限られた厚みの中で、半立体の表現を試みる。彫刻刀やヤスリの基本的な扱い方を理解し、安全に作業できるようする。 友人の作品を鑑賞し評価する。	木彫レリーフによるジグソーパズル （桂板材200㎜×200㎜）	○	○		○	自分が意図するものをどのように表現するか、創意工夫する。安全に留意して作業することができる。 鑑賞し感じたこと・学んだことを、自分の表現に生かすことができる。	○		○	8
	凹版画の制作過程を学び、ニードルによる白黒の表現を工夫し、理解する。さらに彩色の制作過程を学び、表現する。 友人の作品を鑑賞しあう。	彩色凹版画（油性インク黒・アクリル絵の具） （透明版３２０㎜×２４０㎜） 講評会	○			○	資料集め等、構想の段階を大切にし、色彩の構想を練り、計画的に制作することができる。 鑑賞し感じたこと・学んだことを、自分の表現に生かすことができる。	○	○	○	8 合計 78